

目 次

◇ まえがき

研究部長 谷岡義高

◇ 1 若い先生に伝えたいこと

- | | |
|--|-----------|
| ① 若い先生たちへ伝えたいことー悩む先生たちへー | 守屋 淳・・・2 |
| ② 重松鷹泰先生に学んだことー若い教師の方々へー | 宮崎富士也・・・6 |
| ③ “教育とは何か”を再考しよう | 吉田武浩・・・10 |
| ④ あなたの目の前の子どもの理解に基づくあなただけの教育実践を | 小口崇博・・・12 |
| ⑤ 若い先生に伝えたいこと | 清水伴正・・・14 |
| ⑥ 自然や仲間とふれあい、小さな命を感じるために
～ 人や自然・生き物との共生 ～ | 具足慶子・・・16 |

◇ 2 子どもが自ら学びはじめる瞬間

- | | |
|--|-----------|
| ⑦ 子どもが自ら学びはじめる瞬間 | 渡辺祥太・・・18 |
| ⑧ 子どもが自ら学びはじめる瞬間
ー「新しい世の中～富国強兵と野麦峠～」実践よりー | 薄田太一・・・20 |

<案内>

- | | |
|-----------------------|-------|
| ① 福岡集会の1次案内 | ・・・22 |
| ② 奈良女子大学附属小学校研究発表会の案内 | |

目 次

◇ まえがき

研究部長 谷岡義高 1

◇ 寄稿論文

- ① 大津昌昭 若き先生たちへ わたくしが子どもに眼を開かされたこと . . . 3
- ② 片山信二 みさき公園に行った オラン・ウータン「ジョニー」 9
- ③ 森山聖子 ぼくらのまちの夢花火 12
- ④ 土山弘子 ともに生きる社会をめざして 14
- ⑤ 黒田三枝子 見る目と見る眼 15
- ⑥ 伊藤多輝子 自分らしい考えを大切に、
ひびき合える子どもたちをめざして . . 16
- ⑦ 廣田積芳 子どもが学び始める瞬間
—教師とは異なる世界を生きる子どものために— . . 22
- ⑧ 中村恒之 五・七・五からみえるもの 24
- ⑨ 杉森 至 子どもたちの気づきから学ぶ 26
- ⑩ 柴田 純 偽りなき本物の教育を 30

目 次

◇ まえがき

研究部長 谷岡義高 1

◇ 学びを支える教師のあり方

① 杉山浩之 協働の文化を創る学校 3

② 吉川成司 教師の「学びほぐし」を考える 5

③ 水谷恒雄 「己を磨き、鍛える」 7

④ 武井茂登 子らと共に歩むこと 9

⑤ 窪 満廣 学びを支える教師のあり方 13

目 次

◇ まえがき

研究部長 谷岡義高 1

◇ 座席表記録の大切さ

① 市川文夫 私にとっての「カルテ」とは
—先生方に発信した「校長だより」から— 2

◇ 生活の中に学びを見つける

② 大津昌昭 見つける力と問う力を 10

③ 清水伴正 スーパーの店先がかわったよ 12

④ 田中淳夫 どのような社会事象が教材になるのでしょうか、
その条件を考える 14

⑤ 吉永紀子 子どもの生活の中に芽生える
学びを紡ぎあう場としての朝の会 18

⑥ 春日良樹 生活の中に学びを見つける 20

目 次

◇ まえがき

研究部長 谷岡義高

◇ 学習のめあてをどうもたせるか

- ① 市川文夫 問題解決の「問題」について
— 「学習のめあてをどうもたせるか」にかかわって— 1
- ② 宮崎富士也 学習の目当てをどう持たせるか 4
- ③ 中島憲一 学習のめあては、その子のめあてになっているか 10
- ④ 中村恒之 子どもを見るということ 12
- ⑤ 窪 満廣 学習のめあてをどう持たせるか 14
- ⑥ 北元智明 「めあて」を持たせることが、わたしのめあて 16
- ⑦ 前田建太 子どもと教師のズレを埋めるために 18

◇ 琴線に触れる営みを

- ⑧ 具足慶子 生まれたときはみんな真っ白 20

◇ 生活の中に学びを見つける

- ⑨ 谷本和信 学ぶこと、暮らしをみつめること 22

◇ 「めあて、おたずね、ふりかえり」のリズムを教育の根源に

- ⑩ 谷岡義高 自律した学習力を身につけた子どもの育成 24

目 次

◇ 基調提案

自律した学習力を深める子どもの育成

- ◇ ～学習を芸術の域に高める子どもの姿～ 研究部長 谷岡義高

◇ 学びの基盤にあるもの

- ① 守屋 淳 「なんかみんなには足りない気がする！」
—学びの基盤としての人間関係— 1
- ② 吉永紀子 <自分>という座標軸をもつこと 3
- ③ 田中淳夫 「活動」を考える 5
- ④ 大塚 禮 学びの基盤にあるもの 7
- ⑤ 春日良樹 学びの基盤にあるもの 9
- ⑥ 桑原知子 子どもたちの日記から 13

◇ 学習指導案づくりの変遷

- ⑦ 清水伴正 時がたつにつれて、おのずと変わりゆく指導案づくり . . . 15

◇ 子どもに目を開かされたこと

- ⑧ 大辻登代子 Aちゃんらしさの追究
—2歳児の粘土遊びの活動を通して
Aちゃんらしさを引き出す保育士のかかわり方を探る— 19
- ⑨ 宮崎富士也 集中と他人への配慮
—滋賀 愛里保育園 2歳児組 横田・田中実践「粘土遊び」より . . . 28

目 次

◇ 基調提案

子どもが学ぶ学級をどう作っていくのか

～「学級なかよし」の大切さ～

研究部長 谷岡義高

◇ 子どもが学ぶ学級をどう作っていくのか

① 宮崎富士也 子どもの構想力と、温かく楽しさに溢れた学級 1

② 北元智明 子どもが学ぶ学級をどう作っていくのか 5

③ 薄田大智 「温かい雰囲気支え合う学級集団」を目指して 7

④ 前田建太 自分なりの方法を見つけよう 9

⑤ 市川文夫 どうすれば、子どもが学ぶ授業ができるのか 11

◇ 子どもの学びを見守り育てる教師

⑥ 清水伴正

教師ならだれでもできるが、教師だれにでもできるとは限らない . . . 14

⑦ 谷岡義高 独自の学びが合わさる劇の創造へ

劇「一年月組ならさんぽにいこう」 16

1年学年だより「あをによし」感性の扉を開く 20

目 次

◇ 基調提案

独自学習の原点にあるツール

～ メモを持つ子どもたち ～ 研究部長 谷岡義高

◇ フィールドワークから創り上げる追究のあり方

① 田中淳夫 フィールドワークから創る追究としての学習 1

② 清水伴正 茅野市の伝統工芸品 鋸について 5

◇ 子どもの心に寄り添うということ

③ 住吉幹城 子どもの心に寄り添うということ 10

◇ 若手教員に学ぶ

④ 中村恒之 若手教員に学ぶ 12

目 次

◇ 子どもから学び、子どもと共に創る学習

- ① 市川文夫 「教師のねらい」と「生徒の願い」 1

- ② 前田建太 X君に気づかされたこと 5

- ③ 谷岡義高 理科学習における書く指導の階層
メモ帳・独自学習ノート・相互学習ノート・レポートの関連 . . . 9